

日高町地域公共交通活性化協議会

令和5年度第6回会議録

令和5年第6回日高町地域公共交通活性化協議会会議録

令和6年3月22日(金)

開会 午前 10時30分

閉会 午前 11時25分

○議事日程

- 1 会長あいさつ
- 2 議案第1号 日高町地域公共交通計画の概要について
- 3 議案第2号 日高町地域公共交通計画(素案)について
- 4 報告第1号 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価結果について

○出席委員(14名)

深根英範 会長	土田作郎 委員
木村康弘 委員	柴田淳 委員
池添孝治 委員	加藤利行 委員
奥野貴弘 委員	中村厚彦 委員
井溪雅晴 委員	門間俊也 委員
西山泰幸 委員	瀧ヶ平正美 委員
木下順二 委員	駿河嘉秀 委員

○欠席委員(5名)

伊藤幸寛 副会長	高岡昇 委員
奥野秀人 委員	工藤幹彦 委員
野口恵子 委員	

○出席事務局職員

事務局長 林谷昌美	主幹 長谷川大樹
主事 折尾直樹	主事 小野寺隆宏

○日高町関係部局

住民生活課長	子育て健康課長
高齢者福祉課長	管財建築課長
総合支所地域経済課長	教育委員会管理課長
教育委員会生涯学習課長	

○地域公共交通計画策定支援業務業者

株式会社シン技術コンサル

◎1 会長あいさつ

皆さん、大変ご苦勞様でございます。本日は第6回日の日高町地域公共交通活性化協議会へのご案内をいたしましたところ、年度末を迎え何かとお忙しいとは思いますが、皆さんご参集いただき誠にありがとうございます。また、当協議会の事業につきましては、委員各員のご支援とご協力を賜りまして、本年度も事業が順調に推進しているところでございます。心よりお礼を申し上げます。

昨年5月に第1回目の協議会を開催させていただきまして、地域交通に対するマスタープランとなる地域公共交通計画の策定に向けまして、各方面、各分野から忌憚のないご意見をいただき、問題点、課題、方向性の整理をさせていただいたところでございます。

いよいよ計画策定の最終段階を迎えることとなりますけれども、本日は計画の概要と素案につきましてご説明をさせていただきます。その内容につきまして、再度皆さまのご意見をいただきまして、最終確認をさせていただきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◎2 議案第1号 日高町地域公共交通計画の概要について

資料1について策定支援業者より説明

【会長】 議案第1号は原案のとおり決定

◎3 議案第2号 日高町地域公共交通計画（素案）について

【事務局】 事務局で内容を確認し、3回ほど修正したものを皆様方へお示しさせていただいている。ただ、事前に委員の皆様へ送付し、ご一読いただきたいところではあったが、修正に時間がかかり事前に送付ができなかった。この場をかりて、お詫び申し上げます。

内容について、この後シン技術コンサルより説明させていただくが、ご意見などありましたら、後日でも承るので、役場企画財政課まで。

資料2及び資料3について事務局より説明

【委員】 75ページの目標について、目標とする輸送人数というのは現状プラス新しく走るデマンド交通の利用者が増えるから、この数字の設定になっているということではないか。

【事務局】 その通り。

【委員】 人数も増えるが、新しく交通が走る分費用が発生するということなのか。

【事務局】 新しく費用は発生するが、次のページ76ページの⑤で目標とする行政負担額を削減するよう設定している。この概要については、現状様々なバス路線が運行しているものを統合し圧縮を図っていく。

【委員】 他の路線をやめるから、費用はあまり変わらずに、新しい交通が増える分輸送人員と収入が増えるという意図か。

【事務局】 その通り。

【委員】 他の地域と比べて④目標とする収支率や⑤目標とする行政負担額は非常に高い目標となっている。高い目標を立てることはダメという訳ではないが、その分実施が大変になるかと思うので、ご尽力いただければ。

今回新しく実施するのは、デマンドバスの運行とスクールバスの一般混乗と主に2つだと思うが、デマンド交通の中身の周知方法をどうするか、具体的にどこのシステムを使うかなどは、今回の計画に記載は無いがこれから検討するという事で間違いないか。

【事務局】 令和6年度に新しいシステムを導入して実証運行を予定している。最後に説明しようと思っていたが、運輸局で共創モデル実証プロジェクトという補助事業があるので、第1期の応募締め切りが4月上旬には間に合わないにしても、2次公募があれば、実証運行を行いたいと考えているところ。これを、日高振興局にも間に入れてもらって広域でということで、近隣町の平取町と新冠町にも協力し、改善できる部分は改善していきたいと考えている。広域で行う部分が運転手の確保ということで、交通空白地有償運送運転者講習を補助事業を活用し町内でできないかと管内では動いている。

それとは別に日高町として共創事業を使ってシステムを導入し、実証運行を行っていききたいと考えている。

【委員】 共創プロジェクトについて第1期が4月5日締め切りとなっている。令和5年度はあまり応募がなく、予算があまっていたが、令和6年度については補助率が拡充されていて、胆振日高管内だけでも5件の申請の検討があり採択されるのは狭き門になるかと思われる。2期についても1期で予算のあまりが少なくなれば、採択の数が少ない可能性もあるため、ご留意いただければ。

交通空白地有償運送運転者講習について、十勝の新得モータースクールまでいかないと受講できないが、札幌の業者でもある程度受講者数が確保できれば、出張できてくれるので、ご検討いただければ。

デマンドについて、相乗りしない、スマホを利用せずに電話予約が多くなりコールセンターが大変になるなど、色々な問題が発生しているので、人口や人口母数にあったシステムがあるので、検討いただければ。必要であれば情報提供はさせていただきます。

【会長】 議案第2号は原案のとおり決定

◎4 報告第1号 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価結果について

資料4及び資料5について事務局より説明